

ページなど	誤	正	備考	摘要																												
P56 3.3(2)(3)iii)b. b3.解説	そのため、 <u>衝撃係数に活荷重係数が乗じられることのないよう、活荷重に対して自動車の同時載荷状態などの不確実性を考慮した荷重組合せ係数や荷重係数を見込んだ後に、その動的な増幅分である衝撃の影響との合計を算出する。</u>	そのため、表-3.3.1には、 <u>衝撃の影響Iのための荷重組合せ係数や荷重係数はない。活荷重の動的な増幅分である衝撃の影響Iは、自動車の同時載荷状態などの不確実性を考慮した活荷重に関する荷重組合せ係数や荷重係数を活荷重Lに考慮したあとで、これに上部構造の衝撃係数iを考慮することで算出する(式(解3.3.1)を参照のこと)。</u>		①2018.5.14掲載 ②第5刷で訂正予定																												
P76 5.2(5)から(9) 解説	・・・、この示方書では、設計における構造決定の行為の中で設計対象における不確実性を減らせる要因については、抵抗値R・・・	・・・、この示方書では、設計における構造決定の行為の中で設計対象における不確実性を減らせる要因については、抵抗値R・・・	「に」の追記	①2018.5.14掲載 ②第5刷で訂正予定																												
P141 8.17(4)6)解説	<u>鋼桁及び2主構トラスに関しては活荷重載荷時の風荷重が活荷重無載荷時の風荷重に比べ小さいことから、活荷重載荷時の風荷重は考慮しなくてもよい。</u>	(削除)		①2018.10.16掲載 ②第5刷で訂正予定																												
P134 8.17(4)2) 表-8.17.3	表-8.17.3 2主構トラスに作用する風荷重 (kN/m ²) <table border="1"> <thead> <tr> <th>トラス</th> <th>活荷重無載荷時</th> <th>2.5(V/40)²/φ^{0.5}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋床</td> <td>活荷重無載荷時</td> <td>3.0(V/40)²</td> </tr> </tbody> </table>	トラス	活荷重無載荷時	2.5(V/40) ² /φ ^{0.5}	橋床	活荷重無載荷時	3.0(V/40) ²	表-8.17.3 2主構トラスに作用する風荷重 (kN/m ²) <table border="1"> <thead> <tr> <th>トラス</th> <th>2.5(V/40)²/φ^{0.5}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋床</td> <td>3.0(V/40)²</td> </tr> </tbody> </table>	トラス	2.5(V/40) ² /φ ^{0.5}	橋床	3.0(V/40) ²	「活荷重無載荷時」の削除 ※2019.1.16、「橋、高架の道路等の技術基準の改定について」の誤字脱字の修正に伴う修正	①2019.1.16掲載 ②第5刷で訂正予定																		
トラス	活荷重無載荷時	2.5(V/40) ² /φ ^{0.5}																														
橋床	活荷重無載荷時	3.0(V/40) ²																														
トラス	2.5(V/40) ² /φ ^{0.5}																															
橋床	3.0(V/40) ²																															
P135 8.17(4)3) 表-8.17.5	表-8.17.5 鋼桁又は2主構トラス以外の橋の部材に作用する風荷重 (kN/m ²) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">部材の断面形状</th> <th colspan="2">風荷重</th> </tr> <tr> <th>風上側部材</th> <th>風下側部材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円形</td> <td>活荷重無載荷時</td> <td>1.5(V/40)²</td> <td>1.5(V/40)²</td> </tr> <tr> <td>角形</td> <td>活荷重無載荷時</td> <td>3.0(V/40)²</td> <td>1.5(V/40)²</td> </tr> </tbody> </table>	部材の断面形状		風荷重		風上側部材	風下側部材	円形	活荷重無載荷時	1.5(V/40) ²	1.5(V/40) ²	角形	活荷重無載荷時	3.0(V/40) ²	1.5(V/40) ²	表-8.17.5 鋼桁又は2主構トラス以外の橋の部材に作用する風荷重 (kN/m ²) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">部材の断面形状</th> <th colspan="2">風荷重</th> </tr> <tr> <th>風上側部材</th> <th>風下側部材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円形</td> <td></td> <td>1.5(V/40)²</td> <td>1.5(V/40)²</td> </tr> <tr> <td>角形</td> <td></td> <td>3.0(V/40)²</td> <td>1.5(V/40)²</td> </tr> </tbody> </table>	部材の断面形状		風荷重		風上側部材	風下側部材	円形		1.5(V/40) ²	1.5(V/40) ²	角形		3.0(V/40) ²	1.5(V/40) ²	「活荷重無載荷時」の削除 ※2019.1.16、「橋、高架の道路等の技術基準の改定について」の誤字脱字の修正に伴う修正	①2019.1.16掲載 ②第5刷で訂正予定
部材の断面形状				風荷重																												
		風上側部材	風下側部材																													
円形	活荷重無載荷時	1.5(V/40) ²	1.5(V/40) ²																													
角形	活荷重無載荷時	3.0(V/40) ²	1.5(V/40) ²																													
部材の断面形状		風荷重																														
		風上側部材	風下側部材																													
円形		1.5(V/40) ²	1.5(V/40) ²																													
角形		3.0(V/40) ²	1.5(V/40) ²																													

ページなど	誤	正	備考	摘要															
P136 8.17(4)5)	活荷重載荷時には、活荷重に対して橋面上1.5mの位置に $3.0(V/40)^2$ kN/mの風荷重WLを作用させる。	活荷重に対する風荷重WLは、橋軸方向の長さ1mにつき $3.0(V/40)^2$ kN/mの値とし、橋面上1.5mの位置に作用させる。	※2019.1.16、「橋、高架の道路等の技術基準の改定について」の誤字脱字の修正に伴う修正	①2019.1.16掲載 ②第5刷で訂正予定															
P136 8.17(5) 表-8.17.6	<p>表-8.17.6 下部構造に作用する風荷重 (kN/m²)</p> <table border="1" data-bbox="371 560 920 743"> <thead> <tr> <th colspan="2">躯体の断面形状</th> <th>風荷重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円形</td> <td>活荷重無載荷時</td> <td>$1.5(V/40)^2$</td> </tr> <tr> <td>小判形</td> <td>活荷重無載荷時</td> <td>$3.0(V/40)^2$</td> </tr> </tbody> </table>	躯体の断面形状		風荷重	円形	活荷重無載荷時	$1.5(V/40)^2$	小判形	活荷重無載荷時	$3.0(V/40)^2$	<p>表-8.17.6 下部構造に作用する風荷重 (kN/m²)</p> <table border="1" data-bbox="1133 560 1520 743"> <thead> <tr> <th>躯体の断面形状</th> <th>風荷重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>円形</td> <td>$1.5(V/40)^2$</td> </tr> <tr> <td>小判形</td> <td>$3.0(V/40)^2$</td> </tr> </tbody> </table>	躯体の断面形状	風荷重	円形	$1.5(V/40)^2$	小判形	$3.0(V/40)^2$	「活荷重無載荷時」の削除 ※2019.1.16、「橋、高架の道路等の技術基準の改定について」の誤字脱字の修正に伴う修正	①2019.1.16掲載 ②第5刷で訂正予定
躯体の断面形状		風荷重																	
円形	活荷重無載荷時	$1.5(V/40)^2$																	
小判形	活荷重無載荷時	$3.0(V/40)^2$																	
躯体の断面形状	風荷重																		
円形	$1.5(V/40)^2$																		
小判形	$3.0(V/40)^2$																		
P150 9.1(2)解説	・・・、部材としての特性について一定の確認がされたものについては、(1)を満たすものとする。・・・	・・・、部材としての特性について一定の確認がされたものについては、(1)を満たすものとする。・・・	「と」の削除	①2019.7.22掲載 ②第5刷で訂正予定															